

図 3.3 鴨居地区の平面図

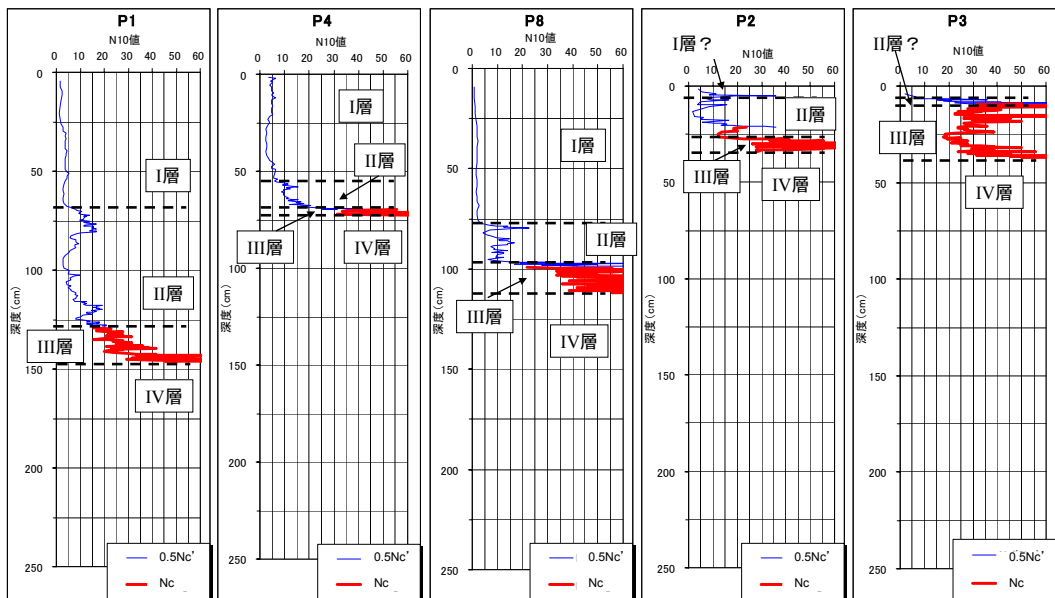


図 3.3 鴨居地区の貫入試験結果度土層分類

表3.2 鴨居地区における土層分割

名称	Nc値	Nc値の分布	厚さ	備考
I層	5以下	深さ方向の変動は極めて小さい	40~170cm	P6(深度45~70cm)、P13(85~105cm)のように、局所的にNc値が5を越える部位がある。
II層	5~20	厚さ10~50cmのNc値が大きく、深さ方向の変動幅が大きい層(15~30)とNc値が小さく、深さ方向の変動幅が小さい層(5~10)に分類できる。	10~60cm	
III層	15~50	5cm程度の範囲内でも、深さ方向の変動幅は大きい層が続く	10~75cm	
IV層	50以上			

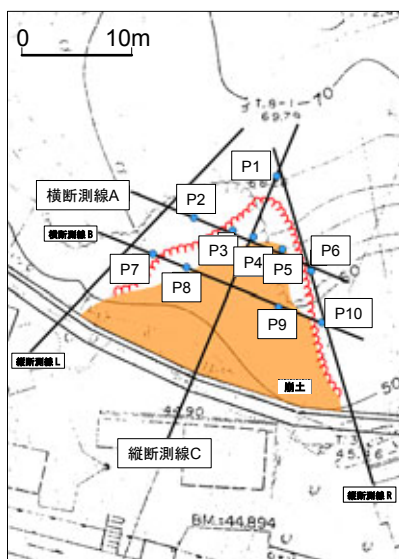


図 3.5 逆谷地区の平面図

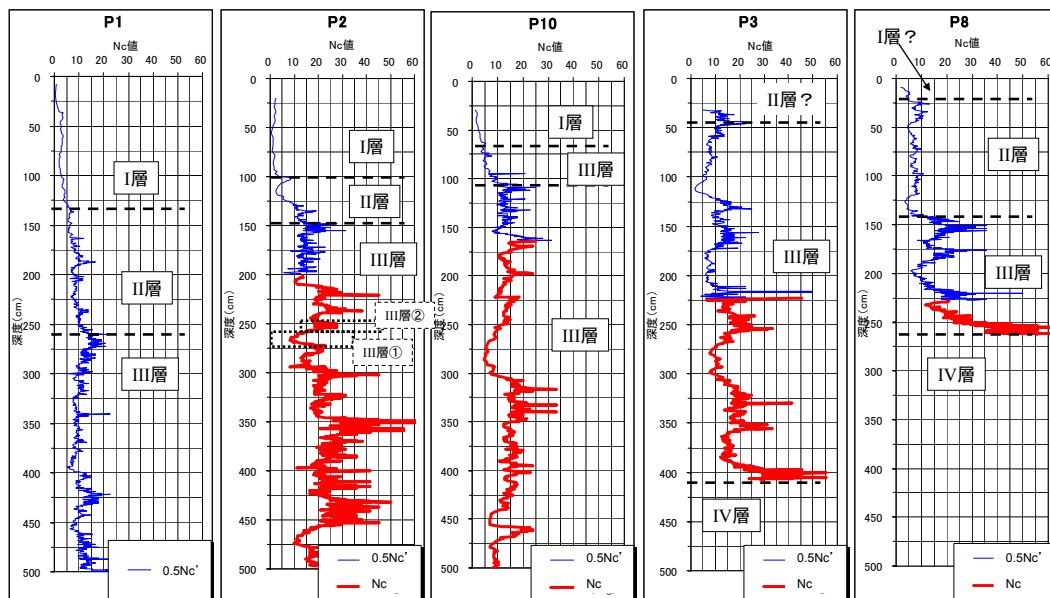


図 3.6 逆谷地区の貫入試験結果度土層分類

表3.3 逆谷地区における土層分割

名称	Nc値	Nc値の分布	厚さ	備考
I層	5以下	深さ方向の変動は極めて小さい	70~170cm	
II層	5~15	深さ方向に徐々にNc値が増加する	30~130cm	
III層	5~50	深さ方向の変動幅はII層に比べて大きい。① 5cm程度の範囲内でも深さ方向のばらつきは大きい層 (Nc = 15~50)と ② 比較的深さ方向のばらつきの小さい層 (Nc = 5~15)の2層に分類することができる。	80cm以上	
IV層	50以上			P1. P2. P5. P10ではこの層まで到達していない

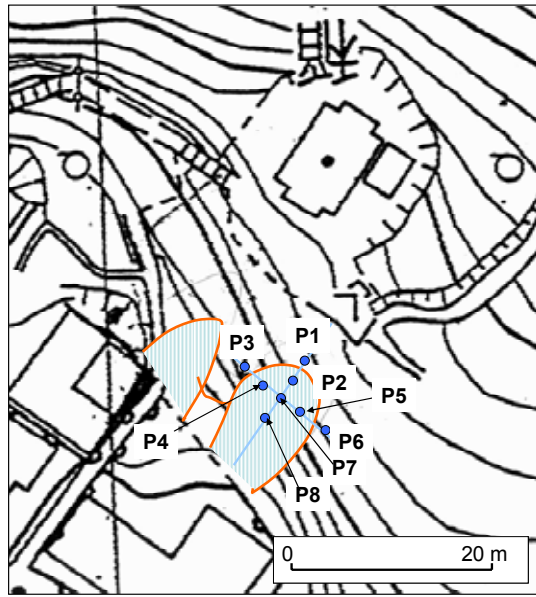


図 3.7 台地区の平面図

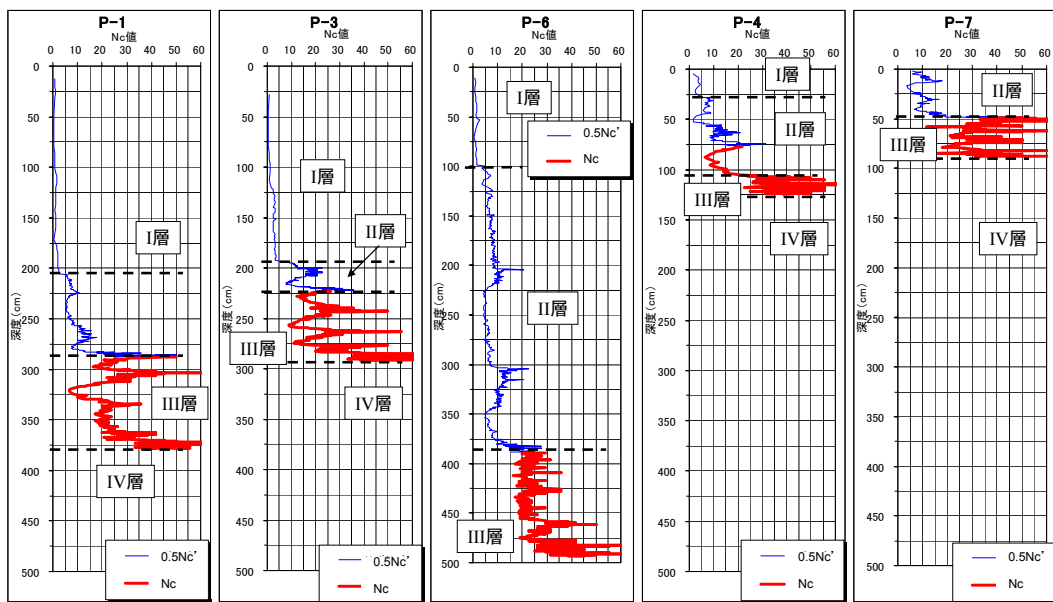


図 3.8 台地区の貫入試験結果度土層分類

表3.4 台地区における土層分割

名称	Nc値	Nc値の分布	厚さ	備考
I層	5以下	深さ方向の変動は極めて小さい	100~200cm	
II層	5~20	厚さ10~50cmのNc値が大きく、深さ方向の変動幅が大きい層(15~30)とNc値が小さく、深さ方向の変動幅が小さい層(5~10)に分類できる。	25~275cm	
III層	15~50	5cm程度の範囲内でも、深さ方向の変動幅は大きい層が続く	80~100cm	P1、P3のように、厚さ10cm程度のNcが10~20でNcの深さ方向のばらつきが小さい層が挟まっていることがある。
IV層	50以上			

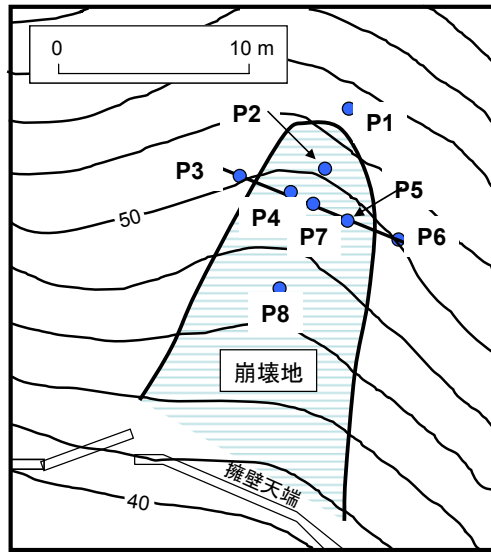


図 3.9 極楽寺地区の平面図

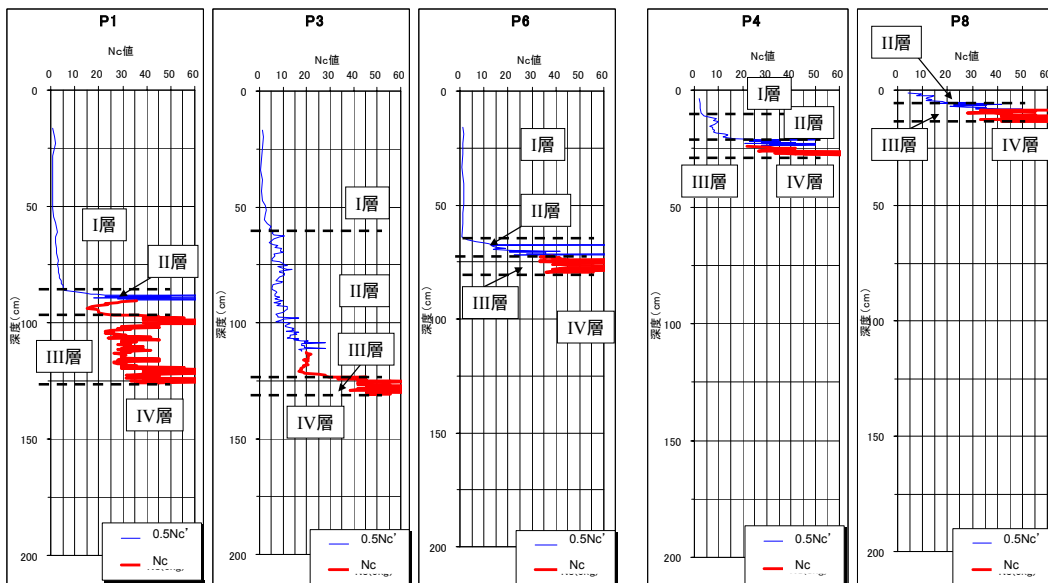


図 3.10 極楽寺地区の貫入試験結果度土層分類

表3.5 極楽寺地区における土層分割

名称	Nc値	Nc値の分布	厚さ	備考
I層	5以下	深さ方向の変動は極めて小さい	60~80cm	
II層	5~20	深さ方向に徐々にNc値が増加する	10~65cm	P1には、5cm程度のNc20~50の層が挟まっている。
III層	20~50	5cm程度の範囲内でも、深さ方向の変動幅は大きい層が続く	10~30cm	
IV層	50以上			

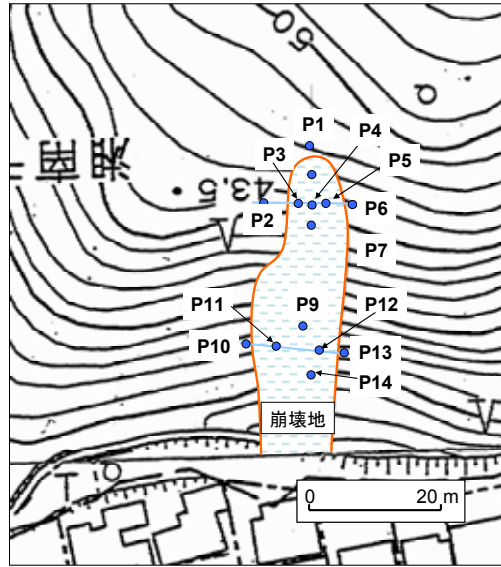


図 3.11 手広地区の平面図

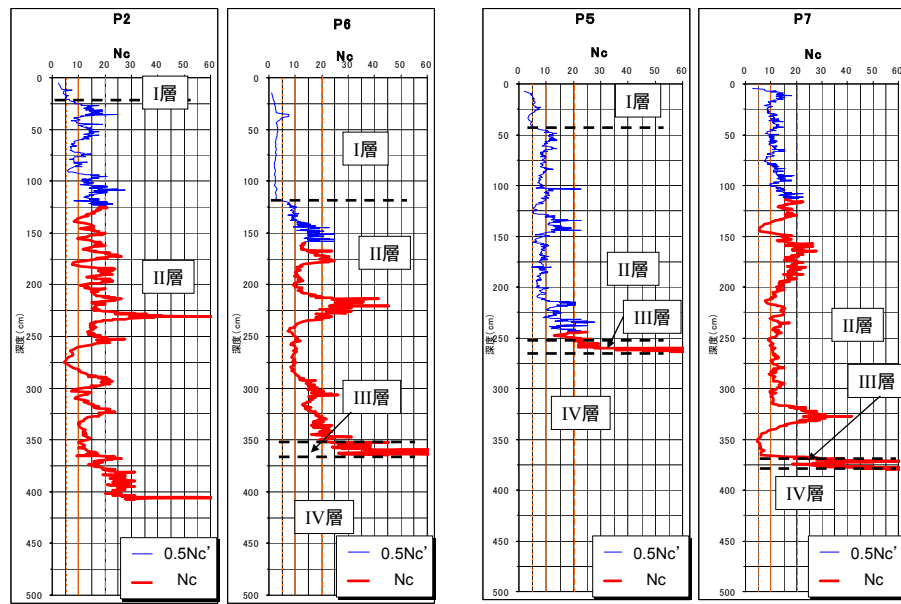


図 3.12a 手広地区の貫入試験結果度土層分類 (斜面上部)

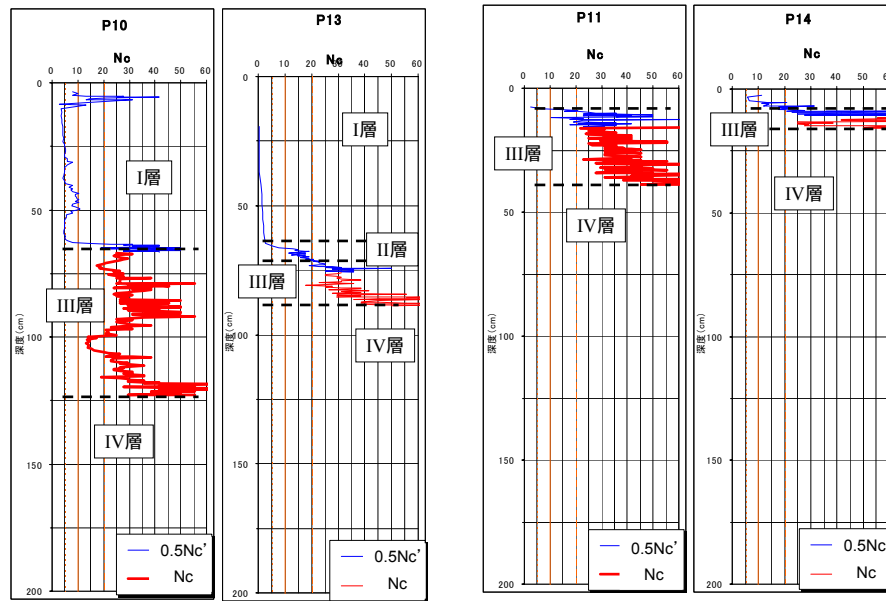


図 3.12b 手広地区の貫入試験結果度土層分類 (斜面下部)

表3.6 手広地区における土層分割

名称	Nc値	Nc値の分布	厚さ	備考
I層	5以下	深さ方向の変動は極めて小さい	20~120cm	P10では、表層に厚さ5cmのNc10以上の層が挟まっている。
II層	5~30	厚さ10~50cmのNc値が大きく、深さ方向の変動幅が大きい層(15~30)とNc値が小さく、深さ方向の変動幅が小さい層(5~10)に分類できる。		P10では、この層の存在は明らかではない。また、P1、P2、P6では5~15cm程度のNc値が30を超える部位が挟まっている。
III層	20~50	5cm程度の範囲内でも、深さ方向の変動幅は大きい層が続く	20~60cm	P1、P2においては、この層まで到達していない。また、P10では厚さ5cm程度のNc値が15程度の層が挟まっている。
IV層	50以上			P1、P2においては、この層まで到達していない。